

新 評 論

2015

4

No.256

発行所 © 新 評 論 2015年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜

アトム通貨は、地域コミュニティを育むことや、まちの活性化を目的として、二〇〇四年四月七日に早稲田・高田馬場(新宿区)で生まれた地域通貨です。「鉄腕アトム」には、人と人とのつながりの大切さ、子

アトムを冠に、手塚治虫の願いを理念に込めた地域通貨。誕生から11年、国内九つの地域を活性化に導いた魅力のすべてを紹介。

アトム通貨で描く コミュニティ・デザイン

人とまちが紡ぐ未来

アトム通貨実行委員会 編

◆ジャンル:まちづくり/地域活性化



毎年4月に行われるオープニングイベントで通貨をPRするアトム

どもたちや地球の未来を危惧したメッセージなど、手塚治虫の願いが込められています。これが私たちの行動理念となっているのです。

――一期にあたる二〇一五年二月現在、国内九つの地域に導入され、加盟店は一〇〇〇店以上となっています。通貨券のデザインが人気で、年間発行額は二〇〇〇万馬力(円)、配布機会はのべ一〇〇〇〇回にのぼります。これは地域通貨として例のないケースで、一年間ののべ人数にすると、一〇〇万人がアトム通貨によって地域貢献活動に参加しているということです。アトム通貨を導入した地域では、商店街の活性化、地域コミュニティの再

構築、観光振興、新しいイベントの創造、地域ブランドの開発、ほかの地域との連携などさまざまな展開に活用しています。

本来、地域通貨は必要とされる目的に合わせて使用できる、汎用性のあるツールです。見方を変え、それぞれ地域での問題は、地域通貨によって解決できる可能性があるのです。それだけでなく、費用対効果にすぐれ、今の時代におけるまちづくりに欠かせない関係性や独自の価値観を構築できる秀逸なツールなのです。

本書は、そうした地域通貨の高いポテンシャルについて、第三者による研究書ではなく、実際にアトム通貨の活動に携わる関係者たちによる生の声を記した実践書として構成しました。実例を多数紹介し、個々の目的と結果を分かりやすく伝えることに留意しています。また、地域コミュニティの新しいあり方や、商店街の活性化、ボランティアの促進、地域ブランドについても言及しました。まちづくりの関係者や地域に興味がある学生のみならず、ぜひアトム通貨の魅力をご堪能ください。(いづわた・まゆみ)

四六並製 予二五六頁 予二〇〇〇円

ISBN978-4-7948-1005-2 4月刊

代表編者 石渡正人 1961年神奈川県生まれ。広告企画会社勤務を経て、2000年、株式会社手塚プロダクション入社。2004年にアトム通貨を立ち上げ、現在、手塚プロダクションクリエイティブ部部長、アトム通貨実行委員会副会長。

「積極財政論」という立場から、経済の長期停滞の原因と巨大金融危機の発生メカニズムを解明し、アベノミクスが新自由主義に基づく誤った経済政策であることを論証。

積極財政宣言

なぜ、アベノミクスでは豊かになれないのか

島倉 原著

◆ジャンル: 経済政策 / 景気循環論

リーマン・ショック以降、経済の長期停滞は日本のみならず先進国共通の問題となりつつある。世界恐慌当時と同様、現実を説明できない主流派経済学は信託を失いつつある。

本書は、職業的経済学者ではない筆者

が、「積極財政論」「内生的景気循環論」という立場から、経済の長期停滞の原因と巨大金融危機の周期的な発生メカニズムについて包括的な解明を試み、政府の長期にわたる支出抑制こそが日本の「失われた二〇年」の原因であることを論証したものである。読者が難解な経済学の知識を持つことを前提とはせず、筆者自身の実務経験も踏まえた、豊富なデータに基づく実証的な議論を展開している。

とはいえ、本書は学術的論点を軽視した書物ではない。豊富な実務経験を持っていたケインズの「一般理論」をルーツとする積極財政論はもちろんだが、内生的景気循環論もまた、シュンペーターが遺作『経済分析の歴史』で喝破したように、資本主義経済の基礎的理論となるべきにもかかわらず、非現実的な主流派経済学から異端の烙印を押された、実務家中心に発展してきた理論である。その意味では、現代の実務感覚に基づき、二〇世紀の二大経済学者が遺したヴィジョンの復権を目指した試みとも言えるだろう。

政府支出を持続的に拡大する積極財政こそが、経済の停滞のみならず、格差、大規模災害、エネルギーといった国民的課題の解決に不可欠である。これに對して、アベノミクスで行われている大規模金融緩和や構造改革は、いわゆるリフレ派や新自由主義に基づく誤った経済政策であり、経済全体の不安定性や格差を拡大するものでしかない（消費税増税で明らかのように、「機動的な財政政策」もまた、積極財政論とは異質のものである）。多くの国民がこうした現実を理解することが、より良い未来への第一歩となるであろう。

(しまくら・はじめ)

ISBN 978-4-7988-1006-9 4月刊
四六並製 予二八〇頁 予二五〇〇円

日本国債のパラドックスと

財政出動の経済学

(ワルラス法則を基礎とする)

新たな経済学に向けて

向井文雄

好評刊

ポスト構造改革の経済思想

石水真夫

二五〇〇円

著者 1974年生まれ。経済評論家。東京大学法学部卒業。株式会社クレディセゾンに所属し、セゾン投信株式会社取締役などを歴任。会社勤務の傍ら、京都大学大学院工学研究科博士課程に在籍中（都市社会工学専攻）。景気循環学会会員。

“経済”に取り囲まれた社会・文化・政治・教育観はいかにして生成されてきたのか。その歴史の変遷を丹念に辿り、現代の病の核心に迫る。

経済人間

ネオリベリズムの根底

クリスチャン・ラヴァル／菊地昌実 訳

◆ジャンル：現代経済社会論／近代思想史

われわれは今、どこへ向かおうとしているのか。格差がますます広がり、生きにくさを感じる人がどんどん増える状況の中で、誰しもそう考えるだろう。もちろん、これは日本だけの問題ではない。

欧米のどの国も、同じ難問を抱えている。著者は、このような世界の現状に至った道筋を丹念に辿り、人類の歴史が市場優先を起点にしてネオリベリズム（新自由主義）万能社会へと変貌していく過程を追って、問題の本質に迫る。

古代西洋以来、利益というものは道徳的に忌み嫌われてきたが、一六世紀末、イタリア社会で人間にとつての利益の正当性が認められ、利子を取ることを禁じていた法王庁も自己都合で黙認するようになる。それまでキリスト教的道徳に則って生きてきた個人は、次第におのれの欲望を満たすために、合理的に計算して行動するようになっていく。ジョン・ロック、デイヴィッド・ヒューム、C・A・エルヴェシウス、アダム・スミス、ジェレミ・ベンサムなど、主に英仏の思想家、哲学者、経済学者の著書を援用して、著者は「経済人間」の生成の跡を明らかにする。そして、経済の発展につれて、へ最多数の最大幸福」というベンサムの原

理から逸脱し、ネオリベ社会が形成されていく過程を丹念に辿る。

著者によれば、人類は今大きな転換点にある。変化は単に経済面ではなく、社会、文化、政治、教育のあらゆる面にわたる。問われているのは、新たな行動の規範、生き方そのものである。新しい方向を見出すには、まず過去に歩んだ道をしっかりと見据える必要がある。

明治以降、西洋の後を追いつけてきた日本は、世界的な困難の中にあつて、今また、ひたすらアメリカに追随することしか考えていないが、それで良いのか。現代の核心に迫る本書の意味は大きい。

ISBN978-4-7948-1007-6 4月下旬刊

四六並製 四三六頁 予三八〇〇円

人道的帝国主義

（民主国家アメリカの偽善と反戦平和運動の実像）
 ジェフリー・リクモン／菊地昌実 訳
 著者：ノーム・チョムスキー 三三〇〇円

好評 刊
 ラテン・アメリカは警告する
 （構造改革日本の未来）

内橋克人・佐野 誠編

二六〇〇円

著者 Christian LAVAL 1953年生まれ。パリ第10(ナンテール)大学社会学教授。ベンサム功利主義哲学の専門家。本書のみならず、ネオリベリズムが個人を(経済人間)に変身させ、社会の本質、人間のあり方そのものを変えてきた歴史について論じる多くの書を著している。

学生に賃金を

栗原康

大学生生活を破壊する根本要因を取り除け！生と知の奪還に向けた「万人のための自由で無償の大学」像
四六上製 二四八頁 二〇〇〇円



棄国ノススメ

増田幸弘

家族とともに「棄国生活」10年。新たな移民の時代を予感させる、ユニークな「日本脱出記」。
四六並製 二四八頁 二二〇〇円



のむな危険！

北野慶

「抗うつ薬・睡眠薬・安定剤・抗精神病薬の罠」向精神薬被害者が語る「心のくすり」の真相！
四六並製 二四〇頁 一八〇〇円



孤独死の看取り

ドクターファンタスティック★嶋守さやか

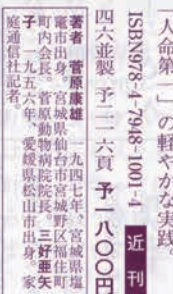
山谷、釜ヶ崎……そこから浮かび上がる支援者達のありのままの姿と現状。脱力★ファンタスティック系 社会学シリーズ②
四六並製 二五六頁 二〇〇〇円



仙・種町式 減災の処方箋

菅原康雄・三好亜矢子

「1人の犠牲者も出さないために」災害大国・日本。「備え」と「対応」は日常の助け合いから生まれる。ごく普通の町内会が取り組む「人命第一」の軽やかな実践。
ISBN978-4-7948-1001-4 近刊
四六並製 予二六頁 予一八〇〇円



震災復興と地域産業 6

関 満博編

「復興を支えるNPO、社会企業家」「社会」を意識した復興への取り組みの意義を抽出。
四六並製 二六四頁 二五〇〇円



日本企業のアジア・バリューチェーン戦略

鈴木洋太郎編

成長を続けるアジア市場への進出戦略を分析し、日本企業立地先としての魅力とリスクを解明。
A5上製 一八四頁 二二〇〇円



私たちの国際学の「学び」

奥田孝晴 椎野信雄編

「大切なのは「正しい答え」ではない」「世界」と「私」と「私たち」をつなぎ直すもう一つの学びの実践へ。
四六並製 二六四頁 一八〇〇円



最新刊

ISBN978-4-7948-0997-1

棄国ノススメ

最新刊

ISBN978-4-7948-1003-8

孤独死の看取り

シリーズ完結

ISBN978-4-7948-0991-0

震災復興と地域産業

好評刊

ISBN978-4-7948-0999-5

私たちの国際学の「学び」

世界遺産マスターが語る **高野山**

尾上恵治

「自分の中の仏に出逢う山」 開創
一二〇〇年記念出版。金剛峯寺前
管長・松長有慶氏へのインタビュー掲載。
四六並製 三五六頁 二二〇〇円

フィンランド人が語る
リアルライフ

ツルネン・マルティ

「光もあれば影もある」 前参議院
議員が母国の友人たちに取材。日
本人への豊かなメッセージ。
四六並製 三四八頁 二八〇〇円



ロマン主義文学と絵画

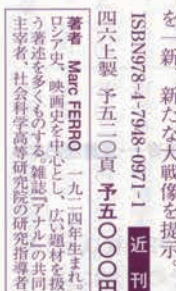
村田京子

「19世紀フランス『文学的画家』た
ちの挑戦」 「絵画の比喩」をジェ
ンダーの視点で分析する意欲作。
A5並製 二二四頁 二八〇〇円

戦争を指導した
七人の男たち

マルク・フエロー／小野 潮訳

「並行する歴史」 「われわれの時
代の問題によりよく対処するため
に」。アナル学派の重鎮が日常史
研究の経験を生かして従来の分析
を一新、新たな大戦像を提示。
ISBN978-4-7948-0971-1 近刊
四六上製 予五二〇頁 予五〇〇〇円



『大雪山 神々の遊ぶ庭を読む』刊行記念・写真展 & ライトトーク開催!

☆北海道東川町在住のフォトグラファー大塚友記恵さんが大雪山の豊かな大自然を撮影した貴重な写真を多数展示。また、通常は北海道でしか入手できないポストカード、地図、ガイドも限定販売! 是非お立ち寄りください。

写真展

- 2月27日(金)～3月31日(火)
八重洲ブックセンター本店・3階壁面ギャラリーにて
*お問い合わせ: 03-3281-8203 (3階直通)
- 4月3日(金)～4月26日(日)
MARUZEN&ジュンク堂書店渋谷店(東急百貨店本店7F)喫茶コーナー壁面ギャラリーにて
*お問い合わせ: 03-5456-2111
- 5月1日(金)～5月31日(日)
ジュンク堂書店池袋本店7階・自然科学書フロア壁面ギャラリーにて
*お問い合わせ: 03-5956-6111

ライトトーク

- 4月16日(木)19:00～
『大雪山 神々の遊ぶ庭を読む』刊行記念
東川町町長・松岡市郎さん & 写真家・大塚友記恵
さんによるライトトーク
*開演19:00 (開場18:30)
*開催場所: 紀伊國屋書店新宿南店
3階イベントスペース(ふらっとすぽっと)
渋谷区千駄ヶ谷5-24-2 タカシマヤタイムズスクエア
*入場無料 / 予約不要
*お問い合わせ:
03-5361-3301 (代表・自動音声応答)



大雪山 神々の遊ぶ庭を読む

清水敏一・西原義弘

北海道最高峰には知られざる幾
多のドラマがあった! 「写真の町」
東川町が全国に向けて発信。
四六上製 三六〇頁 二七〇〇円

ISBN978-4-7948-0982-7



A5並製 二四〇頁十カラ口絵 二〇〇〇円

川和保育園 編
寺田信太郎(執筆)・宮原洋一(執筆・写真)

ふつてもはれても

川和保育園・園庭での日々と113の「つぶやき」

「どこまで子どもに
任せられるかなあ」

■書籍紹介対談者 藤枝陽子(幼稚園教諭・教員歴29年)・庄司みゆき(保育士・保育歴25年)
『エデュカレ』(2015年3月号 読者のレビュー)

藤枝◆モノクロとカラーを合わせて、掲載されている写真の総数が270枚以上！でも、写真集というわけではなく、1章は園庭遊びの詳細を、3章はその理念について文章でつぶつてあるんですね。撮影したのは本誌にも協力してくださっているカメラマンの宮原洋一さん。

庄司◇宮原さんは1章の文章も担当していて、川和保育園で繰り広げられる壮大な園庭遊びを隅々まで紹介しています。頂上のロフトまで10メートルもある「ツリーハウス」とか、石垣をよじ登ってようやくたどり着く「ログハウス」とか…。

藤枝◆こんな危なげな園庭で、子どもたちは多分、リスクも承知でいろいろ挑戦してるんだと思う。もちろん、子どもの動きを計算して作ってはあるんだけど、根っこにあるのは「子どものことは子どもに任せる」という精神。ウチの園の子どもたちはこんなことができるのか、大人たちはここまで子どもに任せられるのか、そんな問いを突きつけられている気がします。

庄司◇3章を書かれたのは、園長の寺田信太郎さん。自分の子ども時代の遊びを、園庭に再現していきたいという熱い思いにあふれていました。

さらに川和保育園は、保護者が「園にどっぷり関わらなくてはいけない、“子どものケガについては骨折までは許す”という覚悟も持たなくてはならない」、そんな園なんだけど、「親が主体的にこの園を選ぶ」からこそ、理念を曲げずに保育ができるんだというくだりには感銘を受けます。

そして、2章の、写真付き子どもの「つぶやき」。ここには一番心揺さぶられたなあ。私は、ここの写真とつぶやきを、別々に見ました。

藤枝◆私も。それぞれに魅力的だったから。ああ、この本を抱えて、川和保育園の見学に行ってみたいですね！

本を売る

担当は「吉祥寺スタイル」の営業?

当店は2013年の秋に改装し、ショップ名が「バルコブックスセンター」になり、店員がつけるエプロンもリプロ時代の紺から鮮やかなオレンジに変わりました。自分も昔はバルコブックスセンターに通っていたので、まさかそこで働くことになるなんて思ってもいませんでした。

改装した当店の自慢の一つは「吉祥寺スタイル」と銘打ったイベントスペースです。スペースにある大きな本棚には吉祥寺を舞台にした本や、在住の作家の方の本、吉祥寺の出版社の本を集めています。スペース内の什器は簡単に移動可能で、サイン会やトークイベント、展示などを行うことができます。

できます、といってもここからが大変で、イベントをさせていただけの出版社や作家さんを探さなければいけません。最近是这样いイベントスペースを持った書店などが都心にもたくさんあり、わざわざ吉祥寺でイベントをして

もらうには、工夫や動機付けが必要で。

そこで、営業で訪ねてくださる出版社の方は、「通り営業が済むと、私に「吉祥寺スタイル」スペースに連れて行かれます。そして今度は逆に、前述の吉祥寺スタイルの説明と営業をされるのです。これを繰り返した結果、「ここで何かやらなといけない」と暗示にかかると、イベントを実現できる機会が増えました。

新評論の営業の武市さんその例に漏れず、私に「吉祥寺スタイル」に連れて行かれました。そしていろいろな方のご協力のおかげで実現したのが、1月31日に開催した川畑嘉文さん(「フォトジャーナリストが見た世界」)地を這うのが仕事」のトークイベントと写真展です。トークイベントは立ち見が出るほど多くのお客様に越したただく盛況ぶりでした。

私は営業の方との話が長いと壁を買っておられますので、お客様にご迷惑にならないように、でも人との出会いやご縁は大事に、「逆営業」に努めたいと思っています。バルコブックスセンター 吉祥寺店

本誌表示価格はすべて税別です。

木幡宏美

書評日誌(1・29~2・28)

書評 紹介 関連記事

- 1・29 ⑥オルタナ『フォトジャーナリストが見た世界』(斉藤円華)
- 1月 ⑥アジア・アフリカ研究『社会自由主義国家』(田中祐二)
- 2014/15冬号 ⑥ラテンアメリカ時報『ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック』(桜井敏浩)
- 2014 No.48 ⑥ラテン・アメリカ論集『社会自由主義国家』(久松佳彰)
- 2・2 ⑥読売新聞(夕刊)『ふつてもはれても』(東えりか)
- 2・8 ⑥日本経済新聞『東日本大震災と地域産業復興 IV』(佐竹隆幸)
- 2・16 ⑥河北新報『東日本大震災と地域産業復興 IV』

- 2・22 ⑥福島民報『学生に賃金を』
- 2・23 ⑥読売新聞(夕刊)『フィンランド人が語るリアルライフ』
- 2・26 ⑥women's action network『南国港町おばちゃん信金』(著者寄稿)
- 2・28 ⑥日刊ゲンダイ『フォトジャーナリストが見た世界』(本屋イベント情報:3/3八重洲BC)
- [12・20 ⑥ラテンアメリカ・リポート『社会自由主義国家』(近田亮平)]

3月の増刷

日本の自然崇拜、西洋のアニミズム

坂本幸博 7刷

3000円

虚構の「近代」 科学人類学は警告する
ブルーノ・ラトゥール/川村久美子 訳・解題 4刷 3200円

本を読む

密詩集 絹の都

原著者クリスさんとは知り合いです。訳者のキンシオさんもTVK(テレビ神奈川)でみていたので、よくその本を出版してくれたという思いです。バイリンガルの詩集は、一冊で二度染しめ、かつ勉強にもなります。レイアウト、写真もきれいです。部数は多くはないと思いますが、このような良書を出版してくれた心意気に感心いたします。これからのがんばって下さい。(横浜市 自営業 黒澤雄太 46歳)

フォトジャーナリストが見た世界

シリアの日本人入国事件があったので、フォトジャーナリストの方々の活動には大きな制約がなかったことと思います。インターネットやスマホの普及で世界は小さくなったといいますが、市内で起きた事故や災害ですら報道されなければ全く知らない別世界の出来事のように他人事です。(広島では昨夏、豪雨災害がありました)が、私の住んでいる所では何も無

かったように、いつもの生活でした。ましてや外国の普段関わりの無い地域のことならなおさらでしょう。今、どこで何が起きているのか、正しい情報を今後も伝え続けていただけたらと思います。もちろん、危険をできるだけ回避していただいた上での話ですが。(広島市 川上ひろみ 主婦)

メッセンジャー 緑の森の使者

前2作と異なり、コミュニケーションがデイストピアではなく、そこから逃れた人の社会となっている。そのため全体に重苦しい雰囲気は漂わず、読む方も気が滅入りそうになることもない。おまけに今回は、かなりアップテンポな展開でぐんぐん読み進むことができた。最後の第4作の出版が待ち望まれる。(新城市 加藤国男 67歳)

好評刊

密詩集 絹の都

クリスモステル時 キンシオタニ 一八〇〇円
フォトジャーナリストが見た世界
(地を這うのが仕事)
川崎繁文 三三〇〇円

メッセンジャー 緑の森の使者
ロイスローリー/黒澤やよい 一五〇〇円

編集部から

「アベノミクス」に対する批判が止まらない。T・P・ケイ氏は来日時、格差を拡大する消費増税を痛烈に批判した(1/31東大講演)。金融緩和で得をするはずの投資家さえ、日本の低迷の要因の一つを「安倍が首相の座にいること」と語っている(1/31ジャーナル、週刊東洋経済2/28)。4月の新刊はいずれも、現政権の経済政策に決別するための思想的・実践的論提を提示してくれる。アベノミクスの誤謬を明快に論証する「積極財政宣言」。経済や市場を「人とまち」の視座から築き直す「アトム通貨で描くコミュニケーション・デザイン」。そして、なぜ私たちがかくも「経済」に囚われるようになったのかを、思想史を廻り人ひとりが書物を通じて「経済」を自らの問題として語り始めること、反撃の狼煙が上がる。

営業部から

▼今年、高野山は弘法大師空海の手で密教の道場が開かれてから1200年目を迎え、日本で唯一、ナショナル・ジオグラフィックによる「2015年に訪れるべき世界のベスト20の場所」に選ばれた。本社としては「世界遺産マスタリ」記念出版として、3月下旬に刊行します(PS参照)。▼合わせて著者の尾上恵治さんによる刊行記念トークイベントを4月25日(土)午後3時より、八重洲ブックセンター本店・8階ギャラリーにて開催いたします。昨春秋、一七二年ぶりに金剛峯寺の「中門」が再建されましたが、尾上さんはこの再建を取り仕切った堂宮大工でもあり、和歌山県が認定している世界遺産マスタリでもあります。当日、どんなお話が飛び出すのか!? ご期待ください。

SBCC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料! 各種特典あり! お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内情を紹介する月刊P誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートにハガキを累計5枚お送りいただくこと、全商品の中からご希望の本を1冊無料送付する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りください。メルマガまたはハガキにてお名前・郵便番号・住所・電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBCC発行の「入会確認証」をお送りいたします。